

令和3年度 事業計画

我が国では、近年、気候変動の影響が顕在化し、記録的な台風や想定を超える降雨により、内水の浸水被害のみならず、最近経験しない河川の越水や破堤による外水氾濫が頻発し深刻な被害が生じている。

河川ポンプ等の内水排除施設は人々の生命、財産を浸水被害から守る河川管理施設として重要な役割を担っており、より一層確実な機能発揮、的確な運用が求められている。

しかし、近年、老朽施設が急増し、厳しい予算制約の下で適切な維持管理・更新の実施が求められるとともに、被災地域からは新設を求めるニーズも増加している。

また、少子高齢化・人口減少の進展に伴い、施設管理者や現場、関係民間企業の何処でも熟練者不足、高齢化、人材確保難が深刻化し、事業体制の弱体化が懸念される。

一方、ICTは急速に発展し、社会に浸透している。河川ポンプ施設の建設・維持管理をはじめ、事業活動全般にわたるDX（デジタルトランスフォーメーション）推進により、平常時のみならずコロナ禍や災害等の制約条件下においても対応可能な合理的、効率的な事業体制構築が求められる。

令和3年度事業では、これらの状況に対して、施設管理者等と連携を図りつつ、激甚化する水害への対応や施設老朽化対策等の課題への取組、河川ポンプ分野のDX推進に向けた取り組みなど、技術の向上、人材育成及び現場・関係者の支援に向けた活動を進め、国内のポンプ施設の合理的な建設・維持管理の実現に貢献する。具体的には、以下のテーマに重点を置いて事業を実施する。

また、公益目的支出計画に基づく事業は引き続き着実に実施する。

I. 河川ポンプ施設技術の調査研究及び普及

- (1) 既開発・導入技術のフォローアップ調査を行う。
- (2) 河川ポンプ分野のDX推進に資する調査、研究開発を行う。
- (3) 現場のニーズに応えるための施設の建設・維持管理に関する調査を行う。

II. 河川ポンプ施設に関する技術者の養成

- (1) ポンプ施設管理技術者資格試験及び同技術者講習を実施するとともに、この技術者資格の活用を図る。また、本資格制度の今後の改善等について検討する。
- (2) ポンプ施設に関する技術講習会、現場研修会等の実施、技術図書や機関誌の発行により、関係技術の普及・向上を図る。

III. 河川ポンプ施設に関する広報活動等

- (1) 河川ポンプ施設に関する理解促進に資する技術資料、広報資料等を作成する。
- (2) インターネット等ICTを活用した広報活動を充実する。
- (3) ポンプ施設の建設・維持管理における諸課題について、協会内外の関係者と意見交換を行う。

1. 総会・理事会

1. 1 令和3年度定時総会

令和3年5月下旬 定時総会を開催

1. 2 理事会

令和3年度は次の2回を開催

令和3年度上期 令和3年度定時総会議案の審議

令和3年度下期 令和4年度事業計画、予算の審議

2. 運営委員会

(1) 理事会に提出する議案の企画・立案

(2) 協会活動のDX推進に関する審議

(3) その他協会運営に関する審議

3. 委員会

3. 1 広報研修委員会

(1) 機関誌「ぼんぷ」の発行

「ぼんぷ」66号、67号を発行する。

(2) ホームページの拡充

ホームページを活用し、行政機関や一般市民向けの河川ポンプ施設に関する広報の充実を図る。

(3) 技術図書の刊行

「ポンプ施設の建設と管理」を刊行する。

(4) 国・地方公共団体等の講習会、研修への協力

国土交通大学校、地方整備局等が実施する技術研修へ講師を派遣する。

(5) ポンプ施設技術講習会の実施

9月に全国5会場でポンプ施設技術講習会を実施する。

(6) 技術研修会等の実施

技術研修会、技術講話会、技術研究発表会を実施する。

3. 2 技術開発委員会

(1) 既開発・導入技術のフォローアップ調査を行う。

今後の施設の維持管理・更新等の改善のため、ガスタービン等の既開発・導入技術についてフォローアップ調査を行い、評価・課題検討を行う。

(2) 河川ポンプ分野のDX推進に資する調査、研究開発を行う。

ポンプ施設の機能確保、向上のためのICT、CIM等の活用、設備管理の情報化支援等、河川ポンプ分野のDXに向けての調査、研究開発を行う。

- (3) 河川ポンプ施設に関するニーズに関する調査、課題解決に向けての検討
河川ポンプ施設の現場のニーズに関する調査を行い、諸課題解決に向けて検討、意見交換を行う。

3. 3 規格調査委員会

- (1) ポンプ施設に関する技術講習テキストの改訂検討
技術講習に用いている「ポンプ施設の建設と管理」の改訂を行う。
- (2) 国際交流の推進
海外の研究機関、行政機関との技術交流を進める。

3. 4 維持管理委員会

- (1) 操作技術向上検討会等の実施
排水機場の施設管理者及び操作員を対象とした操作技術向上検討会等を実施する。
- (2) ポンプ施設の運転操作等の課題に関する検討
ポンプ施設の機能確保、故障発生時の迅速な復旧のために、ポンプ施設の運転操作、点検・診断・修繕等にかかる課題について改善策の検討を行う。
- (3) 河川ポンプ施設に関するデータ管理に関する検討
既設ポンプ施設のデータ収集及び整理を行い、河川ポンプ総覧の基礎資料とする。また、河川ポンプ分野のDXに向けてデータ管理の方策について検討する。

3. 5 資格制度委員会

ポンプ施設管理技術者の資格制度について、今後の改善等について検討を行う。

4. ポンプ施設管理技術者の試験及び講習の実施

- (1) 令和3年度ポンプ施設管理技術者資格試験の実施
令和3年10月31日（日）、全国6会場で実施する。
- (2) 令和3年度ポンプ施設管理技術者講習の実施
ポンプ施設管理技術者講習テキストを作成する。
令和3年5月に全国9会場でポンプ施設管理技術者講習を実施する。
- (3) ポンプ施設管理技術者に関する広報
ポンプ施設管理技術者制度の広報を行う。
- (4) 試験審査関係委員会

① 試験委員会

令和3年度資格試験の試験問題原案の作成、監修、採点等を実施する。

② 審査委員会

令和3年度資格試験の試験問題及び合格基準等についての審議を行う。